

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2022年1月31日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう中寺	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	6	1	0	子どもたちが過ごしやすいように、事業所内の構造化をしている。また、公園や屋外利用や、1階と2階に人数を分けるなどの工夫をしている。
	②	職員の配置は適切である	2	5	0	送迎職員の工夫をしながら、職員配置を確保している。
	③	衛生面の管理が行き届いている	5	2	0	感染マニュアルに沿って対応している。児童、職員が触るものは毎日消毒をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	0	毎日、朝礼・夕礼で話し合った内容を書面にし、職員全員で周知している。毎月、職員会で業務についての話し合いを行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4	3	0	毎年1月に保護者様の意見を職員全体で共有し、業務改善を検討している。
	⑥	自己評価の結果を公開している	5	2	0	保護者様には書面でお渡しし、ホームページでも公表している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	7	0	0	法人での研修や行政・関係機関の研修に参加をしている。また、虐待防止・身体拘束・権利擁護、衛生管理、緊急時対応の研修は年1回必ず受けている。
	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	7	0	0	職員会でアセスメントを行っている。セラピストや職員全員で分析し、計画を立てている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	6	0	1	専門職や職員全員が関わり計画を立てている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	7	0	0	保護者様やお子様の希望も取り入れながら活動の計画をしている。
適切な支援の提供	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	7	0	0	休日、長期休暇は児童が楽しく経験できるような活動を取り入れている。学校のない日は、外出や昼食など、放課後では見られない部分を意識して支援している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	7	0	0	学習・工作・作業療法は個別で行い、運動や生活面は集団で行っている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	毎日朝礼を行い、その日の支援について具体的に話し合っている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	夕礼で1日の支援を振り返り、改善に繋げている。日々の支援の記録は正しくとる事を徹底している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	期限ごとに個別支援計画について評価し、見直しを行っている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	3	0	運動は週替わりで違うものを提供している。土曜日や祝日、長期休暇には様々な経験を得られる活動を計画している。

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	2	4	0	保護者様を通じて学校と連絡を取っている。 学校ごと、児童ごとに送迎時のルールを定めているところもある。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	2	5	0	保護者様や相談支援事業所と連携をし、情報共有をしている。
	⑲ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	2	4	1	現在、学校卒業者はおらず、障がい福祉サービス事業所等との直接的な関わりはないが、発達支援部会に参加するなど、他機関との関わりを持ち、共有している。
	⑳ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	0	発達支援部会、障がい福祉課、ネウボラ課等の研修会や講演会に参加している。また、必要に応じて連携を行っている。
	㉑ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	7	0	0	送迎時、その日の様子をお伝えしている。 連絡帳を活用し、家庭での様子、事業所での様子を共有している。
保護者様への説明責任等	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	3	0	契約時に説明を行っている。問い合わせ等があった際は、適宜対応している。
	㉓ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	2	2	0	モニタリング時に用紙に欄を設けている。 相談がある場合は随時対応している。
	㉔ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	0	3	4	コロナ禍で開催が難しかったが、今後は検討する。
	㉕ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応している	5	2	0	保護者様には、契約時に重要事項説明書にてお伝えしている。 苦情があつた際には、迅速に対応するよう努めている。
	㉖ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	0	0	毎月の予定表に活動内容と、そのねらい等を記載している。
非常時などの対応	㉗ 個人情報保護に十分注意している	7	0	0	名前や写真、利用情報などには、注意して取り扱うように努めている。
	㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	0	絵カードなど視覚支援を利用したり、伝わりやすい言葉を使うようにしてい
	㉙ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	3	1	コロナ禍により、地域行事への参加はしていないが、今後は機会を持つていく。
	㉚ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6	0	1	緊急対応、防犯、感染症対策マニュアルを策定している。職員会や必要に応じて研修を行い、職員に周知している。
	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	5	2	0	年2回実施し、行政へ報告をしている。
	㉜ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	年1回、必ず職員全員が虐待防止研修に参加している。
	㉝ いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	3	4	0	重要事項説明書に記載をしている。また、契約時に、身体拘束が必要な場合の説明をしている。
	㉞ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	7	0	0	薬剤は与薬表と一緒に保護者様からお預かりし、事務所で保管をしている。職員のダブルチェックで服用を行い、与薬表に記入をしている。薬袋は保護者様にお返ししている。
	㉟ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	7	0	0	ヒヤリハットを記入し、毎月ミーティングで共有をしている。